キャラクター名
暮月アスク

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス モルフェウス	ワークス	レネゲイドビーイングB	カヴァー	
オプショナル		年齢		性別	
覚醒	感染	衝動	吸血	初期侵食率	31 %
出自	使命	経験	喪失	邂逅	借り

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	2	1	0			3
精神	1	0	0			1
社会	4	0	0			4

HP	23
行動値	7
(非装備時)	7
戦闘移動	12
全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	4		ＲＣ			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	射撃	3r+12				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
起源種	P	N		
ロザリー	P 庇護	N 憐憫		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1							
効果：								
オリジン：プラント	5							
効果：								
声無き声	★							
効果：								
細菌環境操作	★							
効果：ロザリーの腐敗を防ぐため、常に使っている								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

『ロザリーのため、仕方がないから一応指示には従ってあげますけど。UGNに協力する気はありませんからね』

　儚げな少女の見た目をしたレネゲイドビーイング。ヒューマンズネイバーを解除した身体の周りには大量の青い花が纏わり付いている。本体はその花の方で、少女の方は既に死んでおり、よく見ると屍蝋化しているのが分かる。
　少女の姿とは裏腹に、本体は捻くれた青年じみた性格をしており、常に声なき声を使って話す。十人が一斉に同じことを話しているような声で、長く聴いていると気分が悪くなる。
　屍蝋の少女の名前はロザリーと言う。彼らはロザリーに執心しており、UGNに協力するのも彼女の為だそう。それ以外の人間をまとめて見下している節すらあるが、別に人間が嫌いなわけでもない。

『はあ、これだからロザリー以外の人間は。どうしようもないですね本当』

　ロザリーは起源種のレネゲイドウィルスを保有するオーヴァードだった。その為物心ついた時にはFHの研究所で研究対象とされており、実験体として辛い日々を送っていた。彼女に許された娯楽は、僅かな自由時間に研究所の庭に咲く花を愛でることだけ。研究所以外の景色を知らない彼女にとって、年ごとに枯れ、また咲く花たちは唯一の心の拠り所だった。特に彼女が好んだのは、赤い花を咲かせるアスクレピアスであった。
　そんな生活が終わったのは、三年前の夏の日。研究所で研究されていたとあるオーヴァードがジャーム化し、殺戮を始めた。火の海と化した研究所で、ロザリーは花を守るために制御不能の能力を使ってジャームに立ち向かい……死んだ。

『違う、違う、これじゃない……ロザリーはこんな声じゃない……』

　その直後、ロザリーの血液を吸ったアスクレピアスの花が青色に染まり、レネゲイドビーイングとして覚醒。ロザリーに寄生して研究所を抜け出した後、ソラリスの能力を使って彼女を屍蝋化した。
　愛する少女を救う手段を、その死後に手に入れた彼ら。しかし起源種のレネゲイドウィルスに感染した影響は大きく、彼らはロザリーの声を忘れてしまった。